

HOTeye

心と心のかよいあう福祉の情報誌

ホットアイ

2022 Vol.110

- P1 **特集** 社会福祉事業所紹介
地域に根ざした障がい者自立支援
社会福祉法人ふなおか福祉会
就労継続支援B型事業所「船岡作業所」
- P5 チャレンジ福祉の仕事
社会福祉法人ふなおか福祉会
就労継続支援B型事業所「船岡作業所」
- P6 福祉専門職の紹介
共に笑顔で仕事ができる作業所に「職業指導員」
- P7 福祉人材センター情報
保育現場で働きたい方・働く方を
サポートします
- P8 ボランティア・市民活動センター情報
とっとりボランティアバンク登録団体紹介
ピアサポートグループ(てんかん自助グループ)フレンズ
- P9 ボランティア・市民活動センター情報
鳥取県ブラインドマラソン協会 伴走チーム
「白うさぎB&G」
2人で走ると2倍楽しい
- P11 ことぶき高齢者情報
第30回因伯シルバー大会
- P12 ことぶき高齢者情報
いきいきシニア
- P13 鳥取県社会福祉協議会からのお知らせ

地域と密着した活動で障がい者を支える



「ハッピーたい焼き」の移動販売車で、若桜町地域福祉センター内にあり、主に「生芋こんにゃく」作りをする「若ざくらふれあい作業所」のなしまのの人たちにたい焼きを販売

社会福祉法人ふなおか福祉会 就労継続支援B型事業所「船岡作業所」

八頭町役場船岡庁舎から大江川に沿って川上にすすむと
左手の小高い丘に「船岡保健センター」があります。

八頭町社会福祉協議会船岡支所などが入り、健康・福祉などの
地域の拠点となるそのセンターに隣接して「船岡作業所」はあります。
訪れた火曜日の朝、作業所入口前に「ハッピーたい焼き」の幟が上がり、
屋台が組み立てられ、利用者と職員がたい焼きを作る準備を進めていました。
このたい焼きの製造・販売は、試行錯誤したのち22年間続けられ、
今では、作業所と地域の方々を結ぶ名物たい焼きとなり、
利用者の工賃(給料)の安定にも大きく役立っています。



「ハッピーたい焼き」は、毎週火曜日の朝から、作業所前の露店で250枚から300枚焼かれ、午前中には完売しています。

※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

地域に根ざした障がい者自立支援



精神障がいのある人が利用し、一般就労を目指して少しずつステップアップしている人もいますが、多くは日中活動の場、生活リズムを整えるため、やりがいを感じる場として、おのおの能力や特性に合わせた作業に取り組んでいます。

地域の人たちとの幅広い交流

主な作業内容は、自動車部品や折箱の組立などの「受託作業」と、作業所前での露店と移動での「たい焼き

の製造販売」が中心となっています。

「利用者のそれぞれの個性、日によって違う体調と気持ちなど、これが正解という支援はないと思っています。ただ一人ひとりに寄り添って、認めることや、先回りをせずに行き渡るまで待つことを大切にしています」と話すのは、サービス管理責任者で所長の小林裕美さんです。

作業所では、利用者の可能性を広げるためにも、いろいろな体験をしてほしいとの思いから、多彩な行事や地域の人たちと一緒に取り組む作業や交流事業への参加にも積極的にです。たとえば船岡小学校6年生が企画したレクリエーションを楽しんだり、船岡保育所の園児と一緒に歌やリズム体操をするなど、子どもたちとの交流で元気をもらっています。

また、船岡保健センターのある丘は「メニユダの丘※」と呼ばれ、八頭町社協主催の福祉まつり「メニユダまつり」では、地域の団体や福祉作業所などが、食べ物やゲームなどの露店を出すほか、小学校、中学校のボランティア体験発表会、保育所や作業所の合唱などがあります。この幅広い年代を対象とした福祉まつりに船



就労継続支援B型事業所は、通常の雇用契約での就労が困難な障がいのある人に対して、就労の機会を提供や、就労に必要な能力を育むためのサポートを行っています。また、健康管理の指導や生活上の相談なども行います。

A型が利用者と雇用契約を結ぶのに対して、B型は障がいの程度や年齢などにより、雇用契約が結べない人でも自分のペースで働くことができます。

船岡作業所では現在、身体・知的



受託作業をする利用者たち

※「メニユダ」とは、「明るい」「柔らかな」「優しい」「暖かい」の4つのイメージを基本方針として計画され、この4つの文字「明:メイ」「柔:ニュウ」「優:ユウ」「暖:ダン」の頭文字をとって「メニユダ」としたものです。

社会福祉法人ふなおか福祉会 就労継続支援B型事業所「船岡作業所」

※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。



船岡赤十字奉仕団の林裕見子団長

取材に訪れた日は、ちょうど「船岡赤十字奉仕団」のみなさんによるメニューダの丘の清掃活動がありました

地元の団体・企業との 深いつながり

岡作業所も参加し、販売員として、また合唱を一緒にするなどイベントを通して、地域の方々と互いに理解を深めています。



奉仕団のみなさんと草むしり

た。センターの建物周辺から駐車場にいたるまでの清掃・草取りに、作業所の利用者も毎回参加しています。

また昨年は、奉仕団の方とともに避難訓練や非常食作りをして、災害時の備えなどを認識することができました。そして、近隣住民の方々とのコミュニケーションの第一歩ともなりました。

約80名の会員がいる奉仕団の会長である林裕見子さんは、「作業所のみなさんとは、なかよし会のように遊んだりしています。健常者でも一人ひとりが違うように、障がいがあってもそれは個性だと捉え、分け隔てなくおつきあいをしています」と、障がいがある人も同じ地域の一人として考えています。

地域との結びつきは、受託作業にも見て取れます。「天美卵」など知られる「大江ノ郷自然牧場」からは、ギフト箱など各種折箱の組立をメインに、船岡・隼地区で注文のあった家庭に、大江ノ郷の自然卵を週1回配達しており、利用者とのあいさつや会話を楽しみにしている方もいます。また「物産観光やず」山下清商店」など、ほかの地元企業からも内職の依頼が来ます。

ギフト箱を手際よく組み立ててい



箱を組み立てる利用者の坂田雄史さん

る利用者の坂田雄史さんは、精神障がいがあり、他の作業所から移って4年目ですが、「仕事もこの作業所もとても楽しいし、一般就労をめざして頑張っています」と笑顔を見



せます。

大江ノ郷自然牧場の取締役である小原良庸さんは、「もともと家族が福祉への理解が深かったことから、少しでも工賃の助けになればとの思いから仕事をお願いしています。が、むしろ仲間であり、パートナー感覚でおつきあいをしています」と、障がいのある人が社会の中で個性を活かせる環境づくりのために今後もタイアップしていきたいと話します。



露店で250枚から
の朝から、作業前
の朝から、作業前
の朝から、作業前
の朝から、作業前

「ハッピーたい焼
き」は、毎週火曜日
の朝から、作業前
の朝から、作業前
の朝から、作業前

22年前、内職的な仕事だけでは工
賃アップに限界があり、作業所の軸
になる事業が必要でした。各地のパ
ザーを見て食品販売の人気に気づ
き、たい焼き作りをすることに決め
ました。そして、たい焼きの専門店に
修行に向き、試行錯誤を重ね、た
い焼き事業は始まりました。
美味しいたい焼きを作りたいと、
大江ノ郷自然牧場の天美卵を使っ
た「ふんわりもちり」の生地、北海
道産小豆を使用した甘さ
控えめのあんこなど、材
料にもこだわり、その
味は今に引き継が
れています。

作る側も食べる人も ハッピーなたい焼き



大江ノ郷自然牧場の小原良庸さん

300枚焼かれ、午前中には完売し
ています。立ちっぱなし、屋外で火を
使う難しさから、利用者の仕事はた
い焼きの準備や片付け、袋詰めと袋
の種類別スタンプ押しなどです。ま
た移動販売も行っています。車内で
焼いて販売できる、可愛く目立つビ
ンクのハッピーたい焼き号で、地域の
イベントのほか、注文を受けて出か
けています。

利用者とスタッフが 心を通わせる施設に

小林所長に障がい者支援の手応
えを聞きました。「利用者には、慣
れないことに戸惑ったり、知らない人
を警戒するなど、さまざまな反応が
見られます。しかし、作業所に通う
うちに笑顔が増え、参加できなかつ
た行事に参加できるようになりま
す。初めてやってみて、できたことや
楽しかったこと、難しかったことを素
直に表現する利用者が増え、自分に
自信が持てたような表情を見ると、

スタッフもうれしく励みになっていま
す」と話します。

そして、「障がいの有無にかかわら
ず、思いやりや気づきが大切だと感
じられる職場です。どうすれば笑顔
が増えるのか、困った行動の理由は
何なのかと、スタッフみんなが考えな
がら一緒に作業に取り組んでいま
す。利用者が退所したあとのスタッ
フミーティングでは、ここのほうが
良かったかな、補助すればもう少し
しできそうかな、細かい声かけや
立ち位置などを話し合っているス
タッフの姿を見ると、すごく素敵な
職場だとほっこりします」と、うれ
しそうに笑顔を見せる小林さんに
利用者スタッフの心が通い合ってい
るように映ります。



たい焼き販売の様子

【概要】

- 所在地 / 鳥取県八頭郡八頭町船岡殿163
- 開設日 / 1989(平成元年)
- 運営主体 / 社会福祉法人ふなおか福祉会
- 職員数 / サービス管理責任者1名
職業指導員3名
生活支援員4名
目標工賃達成指導員2名
- 利用定員 / 20名
- 利用相談窓口 / 各市町村窓口



Challenge チャレンジ福祉の仕事

社会福祉法人ふなおか福祉会
就労継続支援B型事業所「船岡作業所」

福祉分野の質的变化や制度改革などにより、福祉施設などではさまざまなキャリアや資格をもつ人材が求められ、それに応じて働きがいをもって福祉の仕事に新たにチャレンジしている人たちがいます。ここでは、福祉分野の仕事に就労し、情熱を燃やしている人たちを紹介します。

支援している自分が支えられていた

生活支援員 西尾 まゆみさん

西尾まゆみさんは、ある福祉関係の仕事に就いていましたが、もっと具体的に利用者と深くかわり、人の役に立って生きていることを自覚できる仕事がしたいとの思いから、障がい者福祉の「船岡作業所」に転職しました。

当初は、一人ひとり異なる利用者の症状や特性があることから、それぞれの利用者との向き合い方に戸惑いを感じていました。

勤務して6年目となった今では、利用者の症状、特性を理解しつつ、利

用者の変化も見ながら作業内容がステップアップできるように支援をしています。

そんな中で、一人ひとりと「コミュニケーションをとることを大切にしながらも、利用者と慣れ合いになつてしまわないように気をつけています。

生活支援員は、障がいの者の日常生活上の支援を行うとともに、社会性を身につける生活指導などを幅広く行います。利用者が苦手だった作業や日常の手伝いなどが徐々にできるようになったり、生活態度が良好になったりするなど、それぞれの成長が見られることに、喜びとやり甲斐を感じながら利用者に向き合っています。

「この作業所は、笑顔があふれています。また、支援していると思っていた自分も支えられていることに気づきました。そんなことから、福祉という枠にこだわらず、人に寄り添い少しでも誰かの役に立てばうれしいと思います」と、西尾さんはやさしい笑顔を見せます。



一般の事務員として働いていた古田あゆみさんは、身体の具合が良くない家族がいたことから、何か助けにならないものかと福祉の仕事に関心を抱いていました。そこに、ふなおか福祉会の「事務兼生活支援員」の求人を目にし、勤務先が地元であり、事務経験も活かして生活支援も覚えられると、思い切って転職しました。

しかし、社会福祉法人や福祉作業所の事務内容は一般事務と違い、経理から給付費請求、利用者の工賃など、考えていたよりも複雑でした。また、障がいのある利用者との「コミュニケーション」の取り方も難しく、当初はすべての面で戸惑ったと話します。

船岡作業所は、作業だけではなく、季節の行事や研修旅行、地域の人たちとの交流などのイベントも盛りだくさんです。利用者の「誕生会」の料理の献立を考えて作ったとき、食べ終えてから「おいしかった」と、みんなに喜ばれたことは、古田さんの喜びともなり、励みとなっています。

そして利用者やスタッフ、地域の方々など、たくさんの人と出会えたことや、いろいろな経験を通して古田さんは変わったと話します。



「人前に出たり、話したりすることが苦手だった自分が、考え過ぎないで、何とかなるさ」と、割り切つてやってみる、おあらかさが身につくなど、大きく成長できたと思つています」と笑顔を見せます。

これからも、基本となる自分の健康管理も大切にして、「利用者の体調の変化にも気づくことができるよう、顔色をうかがったり、話しかけたりして状態の変化に気がつけながら一人ひとりに合った支援ができるように学んでいきたい」と、気負わず自然体で利用者に向き合おうと古田さんです。

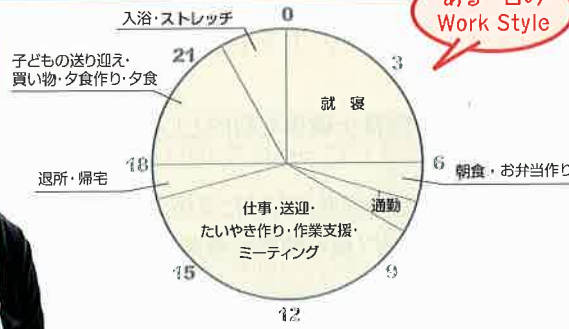
利用者や地域の人たちから学びながら

生活支援員 古田 あゆみさん



福祉専門職の紹介 職業指導員

共に笑顔で仕事ができる作業所に



社会福祉法人ふなおか福祉会
就労継続支援B型事業所「船岡作業所」

職業指導員 塩谷 なぎささん

《職業指導員》とは、障がいのある人が職業に就くための技術などを指導する仕事で「就労支援員」とも呼ばれます。知的・身体・精神障がいのある人で、就労を希望する人の状態や能力、適性などを見極め、仕事に就くためのスキルアップや生活指導などの支援を行います。

また、職場実習や就業体験など就職活動の支援をするほか、就業後には安心して長く働けるようサポートします。支援対象者にとって仕事に就くことは、単に収入を得るためではなく、社会とのつながりを持つ、自己実現を図るなどの意義も持っているため、きめ細やかな配慮が求められます。

職業指導員の仕事の内容、やり甲斐や魅力は何ですか？

主に地元企業からの受託作業に、利用者とスタッフが一緒に取り組んでいます。いくつかの仕事から、その日の利用者の状態や障がい特性を踏まえて何をしてもらうかを考えます。利用者の中には、準備から片付けまで手際よくこなす方もおり、スタッフのほうに教えてもらうこともありますね。

毎週火曜日は「たい焼きの日」で、250〜300枚のたい焼きを販売しています。地域の方やSNSで知って遠方から訪れる方などで、お昼頃には完売になることが多く、おいしかったよ〜と言ってもらえることが喜びと励みになっています。

「この仕事について良かった」と思うのはどんな時ですか？

色々な障がいのある利用者がいますが、特に精神障がいの方などは、その日によって調子が良かったり悪かったりの波があります。それでもここに来てスタッフと話したり、昼ご飯を一緒に食べたりするうちに、少しずつ表情が良くなったり、もうちょっと頑張ろうかな〜と言ってもらえると、スタッフの喜びにもなります。

仕事の中で大切にしていることは何ですか？

利用者のみなさんが作業所に通うことで「生きがいや張り合いを持って働ける」家に一人でいるより作業所に来てみんなの顔を見たら



元気が出る「そんな安心して過ごせる場所であるよう心掛けています。人を支援するという仕事は、スタッフ自身もしっかりとした信念と周りを思いやる気持ちは持っている必要があると思います。そのためにもスタッフも、毎日が楽しく笑顔で仕事ができる職場にしたいと思っています。



休日は何をして過ごしていますか？

子どもたちも成長して手も離れたので、休日はゆっくり過ごせるようになりました。料理をしたり食べることが好きなので、時間がある時は家でピザやパンを焼いたりしています。作業所でも育てているメダカの兄弟を家でも育てていて、最近卵を産み始めたので稚魚になるのが楽しみです。

保育現場で働きたい方・働く方をサポートします

鳥取県保育士・保育所支援センターは、鳥取県内の保育士確保を目的とし、平成28年4月に鳥取県社会福祉協議会に設置されました。

学生や一般の方の就職支援をはじめ、保育者の職場定着促進に向けた支援や保育に関する情報発信など様々な事業を無料で実施しています(鳥取県委託事業)。

あなたの希望や悩みに
応じてサポートします!
いつでもお気軽に
お問い合わせください!



就職支援



求職者 (学生・一般)

未経験だけどせっかくの資格を活かしたい

ブランクがあって、保育士としての知識や技術に不安がある…

子育てしながら働きたいけど、希望に合う求人が見つからない

就職支援コーディネーターにお任せください!

保育専門の就職支援コーディネーターが、就職相談を通じて、あなたの希望に合った求人をご紹介します。希望により施設見学や職場体験の調整・同行をします。保育の仕事について、お気軽にご相談ください。



4月から担当となりました。
よろしくお願いします。

※鳥取県福祉人材センターの無料職業紹介事業と連携して実施します。

保育担当
名越コーディネーター

セミナーで知識・技術を学べるから安心!

最近の保育制度や実技の指導など、安心して復職していただくための「とりっぼセミナー(保育士等就職支援セミナー)」を開催していますので、参加してみませんか?

【参加者の声】

保育制度の昔と今の違いがわかり、就職先を考えるうえで参考になりました(40代女性)

- その他 ● 県内施設で実習等を行う鳥取県出身の県外学生への旅費支援
● 保育の魅力発信フェスの開催 など

定着支援



従事者

仕事の悩みや困りごと誰かに聞いてほしい…

保育のお悩み相談窓口 一人で悩んでいませんか?
仕事や家庭の悩み・困りごとなど…誰かに聞いてもらうことで気持ちが楽になり悩み解決のきっかけになることがあります。まずは話してみませんか。
保健師の専門アドバイスが受けられる「メンタルヘルス専門相談窓口」にお繋ぎすることもできます。



事業主

職場のメンタルヘルス対策を検討したい

職場にエルダー制度を導入したい

メンタルヘルス専門相談

保健師の専門アドバイスが受けられる「メンタルヘルス専門相談窓口」にお繋ぎすることもできます。事業主の方からの相談もお受けしています。

- その他 ● エルダー・メンター制度導入支援 など

情報提供



求職者等 (保育士)

今すぐではないけど、いずれは就職したい…

保育に関する情報が欲しい!

保育士資格の届出でセンターとつながる!

保育士資格の届出登録をすることで、センター情報紙「とりっぼ通信(年4回)」やとりっぼセミナーなどの情報をお送りします。届出登録しておくことで就職希望の場合もスムーズに就職支援が受けられます。

- ホームページ、Facebookなどによる情報発信

【お問い合わせ・就職相談・求人相談・保育のお悩み相談】

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 鳥取県保育士・保育所支援センター

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 TEL0857-59-6342 FAX0857-59-6341

メール hoikucen@tottori-wel.or.jp

利用時間/月～金 8:30～17:00(祝日、年末年始は除く)



WEBページ



Facebook

とっとりボランティアバンク 登録団体紹介

ピアサポートグループ(てんかん自助グループ) フレンズ

「とっとりボランティアバンク」はボランティア活動に関心を持っている方が活動に参加する「きっかけ」を提供するため、県内の生活支援を中心としたボランティア活動や災害ボランティア活動情報を速やかに入手し、発信しています。

その中でも、このコーナーはボランティアとともに活動したいという登録団体の活動を紹介しています。

[ホームページ] <https://www.torivc.jp>



メンバーと支援者の皆さん

ハンディがあっても、同じ仲間として
明るく笑顔で暮らせる社会の実現を願って

2022年3月26日、鳥取駅前のバードハット会場全体が紫色にライトアップされ、鳥取パープルデーキャンペーンが開催されました。パープルデーとは、てんかんをもつ人へ応援メッセージを込めて「紫色のもの」を身につけて、てんかんへの理解を深められるよう、イベントに取り組むカナダ発祥の活動です。

14年前(2008年)に同じ体験をした仲間(ピア)が相互に助け合う(サポート)としてピアサポートグループ(てんかん自助グループ)フレンズ(以下:フレンズ)は設立されました。

「鳥取市にはてんかんの活動グループがなく、仲間を見つけた手段がありませんでした。社会から偏見を無くし、てんかんの理解を深めていくため自分たちの力で活動を始めました」と代表の山根美砂さんは設立当時を振り返ります。てんかんは古くから身近にあり、決し



代表の山根美砂さん

て珍しい病気でありませんが、なかなか人に打ち明けられない悩みをもって

いる人が多くいます。ときには偏った情報を得た方からの心無い言葉やバッシングという問題も起きています。そのような中で健常者の方にはなかなか理解してもらえない事であってもメンバーにだけは分かり合えることが多く、私達が幸せを感じる時間や笑顔になれる場所としてフレンズがあります。嫌な思いや辛いことが多くある中で悩みを抱える仲間が共にサポーターとして同じ目線に立つて交流を深めています。

たった一人の理解者が心の支えに

メンバーの西尾さんは「高校時代に発作が起き、そのことがきっかけとなって、からかわれるようになり、いつの間にか友達が居なくなりました。でも、そんな僕にたった一人の理解者として寄り添ってく



メンバーの西尾さん

れた同級生によって、高校生活から逃げ出すことなく過ごすことができました」と当

時、心の支えとなってくれた友に今も感謝を伝えます。また、フレンズの山根代表と初めて会った時、ものすごく気持ち明るく前向きな印象がとて衝撃的だったと言います。今では参加メンバーが同じ目線で話をしてくれる事が一番嬉しく「今度会う事が楽しみ」と心待ちするくらいに温かく集える場所になっ

病気のことを正しく理解してもらえよう

「未だにてんかんと聞くと一歩距離を取られてしまう現状がある。新たな病名に変える事で当事者が笑顔になって、前向きな気持ちになれるかもしれないと思う。そして障がいという言葉を意識しない社会を目指し、たとえどんなハンディがあっても、マイナスイメージにならず自分のやりたいこと得意なこと好きなことを伸ばしながら、自信を持って一人の人間として頑張っていきたいと思います」と山根代表はメンバーにエールを送ります。さらに同じ症状を抱える仲間と広く手を繋ぎ、てんかんをもつ人やご家族が傷つくことがないように願うと同時に病氣と向き合って日々生活しているメンバーが明るく前向きになれるように病氣のことを正しく理解して、同じ仲間として明るく笑顔で暮らせる社会の実現を願っています。

ピアサポートグループフレンズ

代表/山根 美砂

【問合せ先】

携帯09004448-cucom-

e-mail: misamacky@ezweb.ne.jp

鳥取県ブラインドマラソン協会 伴走チーム「白うさぎB&G」

2人で走ると2倍楽しい

「白うさぎB&G」は、鳥取県内の視覚障がい者と伴走ボランティアでつくる、県内初のランニングチームです。障がい者の社会参加が課題となる中で、「走ることを通して人とのつながりを深め、障がいの有無にかかわらずスポーツに親しみ、楽しむ喜びを分かち合いたい」と、市民ランナーの川口誠さんが中心となつて5年目を迎えました。現在、鳥取県東・中西部で月2回の定期練習会を開催しながら、マラソン大会にも挑戦しています。



「白うさぎB&G」立ち上げの中心となつた代表の川口誠さん

**視覚障がい者が
野外に出て
運動できる機会を**

大型連休に入った快晴の日曜日の朝、ヤマタスポーツパーク内に新設された障がい者スポーツの拠点となる鳥取県障がい者スポーツ協会「鳥取ユニバーサルスポーツセンター(バリア)」に、白うさぎB&Gのメンバーが定期練習会に集まってきました。

この日は、障がい者を含め19人が参加しました。そして、障がい者1人に対して1人から4人のガイドがつき、「ガイドロープ」を一緒に握り、心地よい空気が流れる運動公園内を並走して行きます。それぞれの障がいの特性に合わせて伴走伴走をしますが、競技大会に参加できるような強者もいます。



ブラインドランナーの近藤宏和さん

運動がしたいと発足時から加わり、フルマラソン参加経験もある近藤宏和さんは、「伴走者との

会話と空気に景色や状況を感じ、想像しながらのランニングはとても楽しいです」と、視覚障がい者が野外に出て運動できる機会として、とても価値のあるランニングチームだと笑顔を見せます。

1本のガイドロープが つなぐ信頼関係

チーム名は、地元の神話「因幡の白うさぎ」から取り、「B」は視覚障がいを表す「ブラインド」、「G」は伴走者を意味する「ガイド」の頭文字で、「&」は「心が安堵(あんど)」に掛けて、視覚障がい者が安心できるようにとの願いが込められています。

障がい者と伴走者をつなぐのは、1本のガイドロープです。視覚障がい者は、少しの段差や勾配でも、



伴走者の西井千織さん

つまずいたり転倒したりする可能性があります。方向やスピードの声をかけたり、前を走って風よけになったり、その綱で息を合わせて走る姿は「1本のガイドロープがつなぐ信頼」にあるともいえます。伴走経験3年の西井千織さんは「坂道や段差をどう伝えるか難しいと思うこともありますが、ほとんどは雑談で楽しくやっています。障がいのある方が一生懸命走る姿から元気がもらえます」と、



爽やかな空気の中をガイドロープでつながって頼頼と走るメンバー

鳥取県ボラセン
キャラクター
「はーちゃん」



雑談で得られる 対等な理解と安心感

目の見えない人の立場になりながら伴走しています。

代表の川口さんがブラインドマラソンを知ったのは24年前です。ある早春のマラソン大会に参加したときに、感動のシーンを目にしました。それは1人の視覚障がい者に対して、初対面の5人のランナーが風よけ・雪よけになりながら走っていたのです。その光景を見て「お互いに心を開き、国籍や障がいの有無、性別・年齢に関係なく、つながり合い、助け合うことがで

きる素敵な伴走団体をつくりたい」と決意したのです。

「ただ目が見えないだけで、上下関係のない対等な立ち位置で、お互いに心が癒されたり、元気をもらったたり、影響し合って生きていく関係を大切にしたい。」2人で走ると2倍楽しいです」と川口さんは話します。

また、雑談(対話・会話)が理解を深め、安心できる関係づくりとなります。その雑談力が向上すると人間関係も良好になり、お互いに笑顔が増え、心が一つになる効果があると言います。

双方が無理をしない ゆるい関係で

ブラインドウォーキングで会話を楽しんでいると話す田中泉さんは、「家にもついているとストレスが溜まります。ここに来れば、爽やかな空気の中で話しができ、とても楽しいです」と、健康づくりにも良く、ダイエットにもなり少し痩せたと言います。

川口さんは「やりたいからやっています。』やってあげてくる』では、どこかで壊れたり、爆発したりします。そしてお

互いに自尊感情が低下します。一方通行ではなく、平等・対等な関係で見返りを求めない。自分が楽しいを一番に、無理をしないで、できる人ができる時にできることをするといふゆるい関係で続けながら、広めていきたいです」と話しながら、「興味のある人は一度見に来てください。定期練習会をのぞいてください」と呼び掛けます。(定期練習会の開催日程は下記掲載)



ウォーキングを楽しむ田中泉さん

鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリアの前で



《定期練習会日程》日程は変更する場合があります。見学を希望される方は、代表に連絡でご確認ください。

- 東部地区(会員29名)
毎月第1日曜日・第3土曜日 午前9時30分～11時
鳥取市布勢運動公園ノバリア
- 中部地区(会員20名)
毎月第1・3土曜日 午前7時～8時
湯梨浜町カフェイッポ
- 西部地区(会員17名)
毎月第2・4土曜日 午前10時～11時
米子市湊山公園、皆生サイクリングロード

伴走チーム「はうさぎB & G」代表 川口 誠
問合せ先: 鳥取県倉吉市大谷1007-4
E-mail: nnphr493@yahoo.co.jp
携帯: 090-7547-3066

第30回因伯シルバー大会

第30回 因伯シルバー大会入賞結果一覧

競技種目	表彰区分	1位
卓球	A男子 70歳以上の部	山根 正輝 (鳥取市)
	A男子 65歳以上の部	遠藤 英臣 (三朝町)
	A男子 60歳以上の部	金涌 文男 (倉吉市)
	A女子 70歳以上の部	
	A女子 65歳以上の部	遠藤 聖子 (三朝町)
	A女子 60歳以上の部	
	B男子の部	柳原 哲雄 (倉吉市)
	B女子の部	伊藤 妙子 (湯梨浜町)
テニス	男子A組 (70歳以上)	平井 知行 (鳥取市) 山根 到 (鳥取市)
	男子B組 (60歳以上)	古志 正人 (米子市) 湯浅 啓司 (米子市)
	女子 (60歳以上)	三澤 聡美 (米子市) 青柳 千景 (米子市)
	ソフトテニス	男子ダブルス (60歳以上) 中井 克彦 (米子市) 相澤真里子 (米子市) 野田 悦子 (米子市)
ソフトテニス	女子ダブルス (60歳以上)	
ソフトテニス	混合ダブルス (男子70歳以上、女子60歳以上)	
ソフトボール	団体	シニア鳥城クラブ (鳥取市)
ゲートボール	団体	倉吉 (倉吉市) 新田良博、新本京子、山本城央、河田鈴子、湯田宗孝
パタンク	団体	白うさぎ (鳥取市) 森本範昭、森本芳枝、山下収
ゴルフ	個人	渡部 文夫 (米子市)
囲碁	Aクラス (無差別)	瀬尾 悠平 (米子市)
	Bクラス (5段~2段)	池口 晴男 (北栄町)
	Cクラス (初段、級位者)	道祖 信正 (米子市)
将棋	Aクラス (無差別)	森田 宏敏 (鳥取市)
	Bクラス (初段以下)	足立 康雄 (米子市)

※大会優勝者(一位)結果

5月7日(土)から5月17日(火)の間、どらドラパーク米子等、鳥取県西部の各会場を中心に第30回因伯シルバー大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2年、3年度は中止としたため、3年振りの開催となりました。

この大会は、高齢者がスポーツや文化活動を通して、仲間づくり、健康と生きがいづくりを促進し、活力に満ちた明るい長寿社会になることを目的としています。県内在住の60歳以上の高齢者約420名が参加し、卓球やソフトテニス、パタンク等、9種目において、日頃の成果を発揮し、楽しく交流と親睦を深めました。(新型コロナウイルス感染症の高止まり状況をうけ、グラウンド・ゴルフ、弓道、健康マージャンは中止)

この大会は11月開催の「第34回



パタンク

全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピック)がなわ2022の選手選考会も兼ねており、上位入賞者は鳥取県代表として出場されます。

パタンク大会を取材して

5月7日(土)開催のパタンクは暗雲が垂れ込める中での開会式で

したが、競技が始まるとみなさんの活気あふれるプレーで雲も吹き飛び、快晴の空の下で試合が行われました。

優勝された白うさぎチームの森本さんに上手さの秘訣とねんりんピックへの意気込みについてコメントをいただきました。

『定年退職後に夫婦一緒に出来るスポーツはこの想いでパタンクを始め、気高地区で仲間と練習を重ね優勝できました。ねんりんピックまで暑い中でマスクをしての練習は大変ですが、神奈川大会に参加し、2024年の鳥取県大会へ向けて運営等も見てきたいです。今年こそ神奈川大会が開催されることを願っています。』

最後まで力を出し切り、成果をおさめられることを期待しています！



テニス



ソフトボール



ソフトテニス



将棋



ゲートボール

皆様、活動は素晴らしいことです



県内の素敵な高齢者を同世代のことぶきレポーターが取材をします。「シニア」の「シニア」によるシリーズ。地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしている人など高齢者の魅力を余すことなくご紹介します。



松田頼昌さん

米子市河崎にお住まいの松田頼昌さん(79歳)にお話しを伺いました。松田さんは、四軒屋自治会老人会『寿会』で活動しておられます。

寿会は、概ね60歳以上の希望者で構成され、健康と福祉の増進

並びに奉仕活動の推進に努めると共に、会員相互の親睦を図る事を目的としている団体です。私も寿会に入会しており、健康及び福祉に関する事業、様々な団体の協力、そして各種の奉仕活動が一番大切な事ではないかと思っています。

昨年度の寿会の活動はどうでしたかと伺ったところ、1年間を振り返り話して頂きました。

寿会の活動は、一昨年より新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、室内大人数での活動は出来ず、少人数での活動を中心に行っておられます。3密を避けマスクの着用、手指の消毒、換気を徹底し室内で少人数での講演会受講、そして、身体を使った輪投げ、グラウンドゴルフ、ペタンク、地区のミニ運動会等に参加町内の道路や神社の草取り、ゴミ拾い等、毎日小学生の登下校時の見守り活動も行っておられます。コロナ前は毎春秋にバスで郊外に紅葉狩りに行き、お昼にはごちそうを食べ、ワイワイガヤガヤとお酒も入り、カラオケ大会も行い楽しい1日を過ごした事を思い起こされていました。近年は、少人数での活動が多く



除草作業の様子

なり、グループ内でのつながりが強くなったように思います。寿会にはみんな元気で、100歳を目標に活動に取り組んでいます」とおっしゃっていました。

また、松田さんは、河崎地域安全パトロール隊の事をお話されました。河崎地域安全パトロール隊は、平成16年6月に結成されました。平成13年に、大阪府池田市の小学校で発生した無差別殺傷事件をきっかけに、警察庁が全国にパトロール隊を結成して住民の力を借りて事件事故に巻き込まれないようにと提案されたのが発端です。

河崎地区もそれに賛同して結成し、結成時から松田さんはパトロール隊の一員として協力されています。地域安全パトロール隊の主な活動内容は、登下校の見守り、交通指導、子どもたち

が安全に登下校出来るように通学路の点検等です。学校行事もパト隊が出来る範囲で協力しています。夏休み中には、必ずめん流しをして楽しい1日を過ごしています。いつまでも子ども達と一緒に活動し元気をもらい、自分自身の健康維持に繋がることを願いつつ毎日過ごしています。

終わりに一言、長寿の秘訣は、常に健康である事、そして年をとらない事です。



交通指導の様子



取材を終えて一言
 岡田 信行さん(米子市)
 老人会から自治会活動等幾多の団体に所属され、皆さんに親しまれておられる事を感じました。私も健康と長寿の為に、これからも頑張ります。

老人会から自治会活動等幾多の団体に所属され、皆さんに親しまれておられる事を感じました。私も健康と長寿の為に、これからも頑張ります。

鳥取県福祉人材センターのご案内

鳥取県福祉人材センターは、職業安定法に基づく無料職業紹介事業(厚生労働大臣許可)をはじめ、福祉人材の確保・育成・定着に関わる総合的な取組を行っています。【無料職業紹介事業許可番号13-4-010001】

■無料職業紹介事業事業

福祉の職場で働きたい方、求人情報を知りたい方には、求職登録や職業紹介、求人情報の提供を行ないます。

また、人材をを求める事業所には、求人条件に該当する求職登録者の紹介など、求人者と求職者双方のニーズに応えます。ご利用は無料です。



福祉の職場で働きたい方への職業紹介の流れ



就職後の定着や
キャリアアップのご相談も



人材をを求める事業所への就業あっせんの流れ



まずはご相談ください!

社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会鳥取県福祉人材センター
〒689-0201鳥取市伏野1729-5 TEL(0857)59-6336 FAX(0857)59-6341
【開設日】月～金 8:30～17:00(祝日、年末年始は除く)

専用サイトで求職・求人の登録・求人票の閲覧ができます。

FUKUSHI-JOB SEARCH
福祉のお仕事

福祉のお仕事

検索



とっとりボランティアバンクにご登録ください

ボランティアの力を借りたい
ボランティアをしてみたい

そんなときは…
とっとりボランティアバンクに

ご登録
ください!



誰かのために
力になりたい

ボランティア
したいけどどこで
募集してるの?

ボランティアと
一緒に地域を
元気にしたい

ボランティアの
力を借りたい

ボランティアバンクでは
こんなお手伝いをします

ボランティアの活動調整

ボランティアを募集する方と、活動する方との調整を行います。

ボランティア活動に関する相談受付

ボランティア活動に関する困りごと、お悩み、助成金の申請方法など、何でもご相談ください。

ボランティア活動に関する情報提供(メルマガ)

登録された方に、ボランティア募集やボランティアに関する講座・研修などの情報をメールなどで提供します。

ボランティアバンクに登録いただくこと…



ボランティア
したい人
(団体)

県内外のボランティア募集やボランティア関連講座・研修などの情報を受け取ることができます。



ボランティアの
力を借りたい
団体

とっとりボランティアバンクのHPやメルマガを通じてボランティア募集やボランティア関連講座・研修などの情報を発信できます。

登録したいと思ったら…

下記ホームページから登録いただくか、登録票に必要事項を記入のうえ、ファクシミリもしくはEメール、郵送にて送付してください。登録票は下記ホームページからダウンロードいただくか、お問い合わせ先にご連絡ください。

ホームページアドレス <http://www.torivc.jp/>



令和4年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
こちら



(ふくしの保険
ホームページ)

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆**年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。**

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

HOTeyeギャラリー

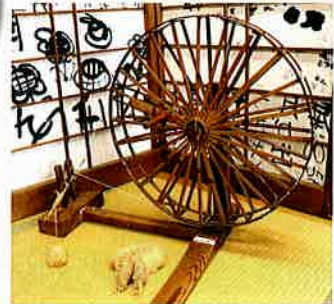
NPO法人 おりもんや(就労継続支援B型) 作品紹介



私たちは機織りを仕事としています。
江戸時代から弓ヶ浜地方で盛んだった伯州綿を
無農薬で栽培して糸を紡ぎ製品にまでしています。



糸紡ぎの様子



機織りの工程は沢山ありますので、1枚の布が織りあがるまでに何人ものメンバーが作業に関わることが出来る“協労”を大事にしています。

製品は年2回の仕事展の他に各地でのイベント参加、倉吉ココロストアさん、福祉の店浜っ子他で扱っていただいています。



○手紡ぎマフラーとハンカチ (伯州綿100%)

【作品について】
無農薬で育てた伯州綿を収穫し、手紡ぎ・手織りによる糸紡ぎの個性が出る作品。
コメント
いい作品になるよう糸が切れないように引いて(紡いで)います。織る人のことを考えて仕事をしています。(K.S)



○結び織 椅子マット(綿100%)

【作品について】
藍などの草木で染めた糸の束を経糸に結びながら織り込んだ作品。
コメント
柄を入れ間違いないように気をつけてます。使ってくださり喜んでもらえるのが作れるといいな。(川口祐二)

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内)
URL <https://www.tottori-wel.or.jp> e-mail soumu@tottori-wel.or.jp

福祉人材の
求人・求職
の窓口です

鳥取県福祉人材センター

TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341
URL https://www.tottori-wel.or.jp/jinzai/shigoto_top/
e-mail jinzai@tottori-wel.or.jp

ボランティア活動の
幅を広げる
活動を応援します

鳥取県ボランティア・市民活動センター

TEL.0857-59-6344 FAX.0857-59-6340
URL https://www.tottori-wel.or.jp/hukushi/vol_top/
e-mail vc@tottori-wel.or.jp

元気な高齢者の
生きがい・社会貢献
を支援します

明るい長寿社会づくり推進事業担当

TEL.0857-59-6332 FAX.0857-59-6340
URL <https://www.tottori-wel.or.jp/chiki/kotobuki/>
e-mail kototori@tottori-wel.or.jp

県立福祉人材研修センター

- 鳥取県福祉人材センター
- 鳥取県ボランティア・市民活動センター
- 地域福祉部



本誌について、また、福祉に関することについて
県民のみなさまからの御意見をお寄せください。



鳥取県男女共同参画推進企業

「HOTeye ホットアイ」第110号/令和4年7月発行

発行/社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会 〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内) TEL.0857-59-6331 FAX.0857-59-6340
印刷/日ノ丸印刷株式会社